

市長との対話集会開催記録

団体名	師勝はなの樹幼稚園の保護者	実施日	令和7年7月10日（木）
実施場所	師勝はなの樹幼稚園	参加人数	11名

【主な内容】

- ・北名古屋市独自の取組み、保育園・幼稚園への補助について
- ・図書館の複合施設化について
- ・小中学校の部活動、プールの授業について
- ・夜間救急について



【対話内容（抜粋）】



参加者

市内の公園ではボールが使えないなど、思いきり遊べる場所が限られています。今後整備される予定はありますか。

市民説明会や他の対話集会でも、同様のご意見をよく頂きます。確かに、北名古屋市には都市公園といわれるような大きな公園が少ないことは課題の一つです。そこで、公園の代わりに学校のグラウンドを開放できればと考え、去年からNPO団体の力を借り、栗島小学校で週2回の校庭開放の実証実験を開始し、今年は西春小と五条小にも展開しています。校庭にはトイレもあるので安心です。また、沖村地区にも広場をつくる計画が進行中ですので、楽しみにしてください。



市長



参加者

図書館を岐阜市にあるメディアコスモスのような複合施設にしてほしいです。

去年、文化勤労会館の3階の図書館の跡地に、「μーベース」という市民協働スペースができました。小さいお子さんの遊び場や絵本、ボルダリングがあったり、おしゃれなカフェも併設されておりますので、ぜひ足を運んでみてください。今、市内の公共施設は老朽化しており、在り方を検討していかなければならない段階にあります。例えば、今年の10月に、栗島小学校の児童クラブを学校内の教室に移動させ、その空いたスペースに、施設の老朽化が問題だった宇福寺児童館の機能を入れるという取組みを実証事業として行う予定です。このように、機能の集約化、複合化といった観点を取り入れながら、公共施設の再編に取り組んでいきたいと考えています。



市長